

聞こえていますか



飛鳥 圭



# 目次

Prologue	1
目次	1
わだかまり	4
煙草	4
春も終わって	5
初夏	5
絵画展	6
小さな出来事	6
近い将来	6
ふりむけば愛	7
夢を追って	7
あなたの通る道	7
僕のガールフレンド	7
あたたかい心	8
眠りなさい	8
風が運ぶもの	8
そしてgoing	9
孤独	9
愛よ再び	9
春風にのって	10
また会うとき	10
かぜ、風	10
fiction	11
食欲	11
星からきた人	12
あの日あの頃	12
想い	12
追想	13
知らなければ	13
見てるだけ	14
うどん	14
ミスって消失	14

僕の夏 . . . . .	15
あの日は . . . . .	15
最悪なこと . . . . .	16
階段 . . . . .	16
省エネ . . . . .	16
当選しちゃった . . . . .	17
先入観 . . . . .	17
同じなら . . . . .	17
祈る . . . . .	18
されど10年 . . . . .	18
宝くじと病気 . . . . .	19
祈ること . . . . .	19
夏休み . . . . .	19
味びとたち . . . . .	20
夏の嵐 . . . . .	20
手の動き . . . . .	21
ゆとり . . . . .	21
北海岸通り . . . . .	21
紺碧の空 . . . . .	22
明日の夢時計 . . . . .	22
この日にさようなら . . . . .	23
恋の香り . . . . .	23
あなたの心へ . . . . .	23
あの日の思い出 . . . . .	24
瀬戸大橋 . . . . .	24
砂浜 . . . . .	25
彷徨 . . . . .	25
今日のうた . . . . .	26
明日の道 . . . . .	26
そうだよ . . . . .	26
僕からあなたへ . . . . .	27
雨にぬれて . . . . .	27
バイクに乗って . . . . .	28
はじめまして . . . . .	28
さざんか . . . . .	28
讃美歌 . . . . .	29
あの港町 . . . . .	29
AUTUMN . . . . .	30
恋ごころ . . . . .	30
春 . . . . .	30

静かな朝 . . . . .	31
ふっと想う . . . . .	31
ぼくの庭 . . . . .	32
今日は雨 . . . . .	32
光の子 . . . . .	32
べんりって . . . . .	33
g r a t i a s . . . . .	33
若人と老人 . . . . .	34
自炊男子 . . . . .	34
はじまりは . . . . .	35
詩人 . . . . .	35
健康な日 . . . . .	36
実家滞在中 . . . . .	36
いま行きます . . . . .	36
手の温もり . . . . .	37
降るのかな . . . . .	37
意地 . . . . .	38
迷い . . . . .	38
g o o d m o n i n g . . . . .	38
やっぱりね . . . . .	39
緑の小旗 . . . . .	39
そして明日 (あした) . . . . .	40
金曜日 . . . . .	40
春も終わり . . . . .	40
過ぎし日 . . . . .	41
青春の頃に . . . . .	41
春のささやき . . . . .	42
明日への道 . . . . .	42
輝くあした . . . . .	42
しあわせ . . . . .	43
E p i l o g u e . . . . .	43
憧憬 . . . . .	44
僕の夢時計 . . . . .	44
良い出来事 . . . . .	45
奥付	
奥付 . . . . .	48



# Prologue

## Prologue

何も聞こえない？でも少しでも愛しいあなたの声が聞こえて欲しい。そして僕からの愛の詩がしっかりとあなたの心に届いていますか聞こえますか、聞こえていますか？詩集タイトルからは恋物語的のようなそんな詩ばかりと思いきやそうじゃなく、ただの思いついただけのタイトルなのである。今回紙の本、電子書籍で発表したものや手もとにある未発表のなかから纏めてみました。皆さんの心に届く poem がひとつでもあれば嬉しく思います。

飛鳥 圭

## 目次

目次	わだかまり	1	未発表
煙草	* 2	未発表	
春も終わって	* 3	未発表	
初夏	4	未発表	絵画展 5 未発表
** 小さな出来事	* 6	未発表	
近い将来	* 7	未発表	
ふりむけば愛	* 8	憧れと愛を求めて	
夢を追って	* 9	憧れと愛を求めて	
あなたの通る道	* 10	憧れと愛を求めて	
** 僕のガールフレンド	11	憧れと愛を求めて	
あたたかい心	* 12	憧れと愛を求めて	
眠りなさい	* 13	憧れと愛を求めて	
風が運ぶもの	* 14	憧れと愛を求めて	
そしてgoing	* 15	憧れと愛を求めて	
*** 孤独	16	憧れと愛を求めて	
愛よ再び	* 17	憧れと愛を求めて	
春風にのって	* 18	憧れと愛を求めて	
また会うとき	* 19	未公開	
かぜ、風	* 20	未公開	
**** fiction	21	未公開	
食欲	* 22	未公開	

星からきた人	* 2 3	未公開		
あの日あの頃	* 2 4	未公開		
想い	* 2 5	未公開		
**** 追想			* 2 6	未公開
知らなければ	* 2 7	未公開		
見てるだけ	* 2 8	未公開		
うどん	* 2 9	未公開		
ミスって消失	* 3 0	未公開		
* **** ** 僕の夏			* 3 1	未公開
あの日	* 3 2	未公開		
最悪なこと	* 3 3	未公開		
階段	* 3 4	未公開		
省エネ	* 3 5	未公開		
**** ** 当選しちゃった			* 3 6	未公開
先入観	* 3 7	未公開		
同じなら	* 3 8	未公開		
祈る	* 3 9	未公開		
されど10年	* 4 0	未公開		
**** ** 宝くじと病気			4 1	未公開
祈ること	* 4 2	未公開		
夏休み	* 4 3	未公開		
味びとたち	* 4 4	未公開		
夏の嵐	* 4 5	未公開		
**** ** ** 手の動き			* 4 6	未公開
ゆとり	* 4 7	未公開		
北海岸通り	* 4 8	未公開		
紺碧の空	* 4 9	未公開		
明日の夢時計	* 5 0	未公開		
+ この日にさようなら			* 5 1	未公開
恋の香り	* 5 2	未公開		
あなたの心へ	* 5 3	未公開		
あの日思い出	* 5 4	未公開		
瀬戸大橋	* 5 5	未公開		
++ 砂浜			* 5 6	未公開
彷徨	* 5 7	未公開		
今日のうた	* 5 8	未公開		
明日の道	* 5 9	未公開		
そうだよ	* 6 0	未公開		



+++ 僕からあなたへ	*61	未公開		
雨にぬれて	*62	未公開		
バイクに乗って	*63	未公開		
はじめまして	*64	未公開		
さざんか	*65	未公開		
++++ 讚美歌	*66	未公開		
あの港町	*67	未公開		
AUTUMN	*68	未公開		
恋ごころ	*69	未公開		
春	*70	未公開		
+++++ 静かな	*71	未公開		
ふっと想う	*72	未公開		
ぼくの庭	*73	未公開		
今日は雨	*74	未公開		
そうだよ	*75	未公開		
+++++ + べんりって	*76	未公開		
g r a t i a s	*77	未公開		
若人と老人	*78	未公開		
自炊男子	*79	未公開		
はじまりは	*80	未公開		
+++++ ++ 詩人	*81	未公開		
健康な日	82	未公開	実家滞在中	83 未公開
いま行きます	*84	未公開		
手の温もり	*85	未公開		
+++++ +++ 降るのかな	*86	未公開		
意地	*87	未公開		
迷い	*88	未公開		
g o o d m o n i n g	*89	未公開		
やっぱりね	*90	未公開		
+++++ +++++ 緑の小旗	*91	未公開		
そしてあした	*92	未公開		
金曜日	*93	未公開		
春も終わり	*94	未公開		
過ぎし日	*95	未公開		
+++++ +++++ 青春の頃に	*96	未公開		
春のささやき	*97	未公開		
明日への道	98	未公開	輝くあした	99 未公開
しあわせ	*100	未公開		
B o n u s p o e m				

憧憬	*101	未公開
良い出来事	*102	未公開
僕の夢時計	*103	未公開

## わだかまり

\* -わだかまり-

少しでも薄れるようにと 水を流してみるのだが 濃厚なこいつは淡くはならない  
既に硬くなっているのだろうか ほんと薄れないって乾いてしまってカチンカチンだ 憎  
しみと同じでこんなものだよ  
あの日の最悪のシーン 映画であって欲しい 非現実的な事実って強烈過ぎて心のスクリー  
ンに 刻まれてしまったのか 愛のメッセージはそうであって欲しいのに  
軽く流されてしまって 大好きなあの人には 僕の想いなんて届いていないのだろう ぶり  
むいてもくれない

## 煙草

-煙草-

あとき煙草を吸っていた 今よりは元気だった バス停への坂道数え切れないほど何度  
も 散歩のときに通り過ぎた  
ところがどうだ・・・そこまでの坂道 年月が経つと共に弱ってきた足腰じゃない呼吸器な  
んだ 運動しないからね  
動くだけで息苦しいから ほんと呼吸器疾患って とんでもない病気だよでも自分自身が  
蒔いた種という  
煙草か原因は 吸わなきゃやっておれない そんなことだったのですかと誰も慰めること  
はしてくれない  
そうそう吸ってるときは 心が落ち着いて良かったけどね早く止めておかなきゃダメだっ  
たんだ もう手遅れなんだから 煙草・・・されど煙草？

今はもう何処でも吸えなくなってる もっと早くからそうならなければ止めていたのに  
ね ところで煙草を吸ってる いやいや・・・とんでもない呼吸困難の発作があってね それ  
からすっかり止めてるよ

## 春も終わって

—春も終わって—

大好きな花の董たち こんにちはと声をかけた もう咲くのはこれで最後だよ小さな幸せ、  
謙虚 誠実、慎み深い・・・

素敵な花言葉 だから とても大好きだったのに 残念だよほんとうに次の春まで待てな  
いよ

もう淋し過ぎるよ 記念と一緒に撮って欲しいって それじゃご一緒しましょう董たちと  
の記念写真 大切な思い出にして 心の中にしまっておきます

## 初夏

—初夏—

薫風に誘われて 爽やかな初夏の香りと緑 そして・・・なにより大切な愛しい人とのひと  
とき

ささやかな満ち足りた 喜びを胸に抱いて これからも・・・光に満ちていついつまでも  
二人して明日の道を 歩いて行きます

## 絵画展

—絵画展—

さあさあ・・・今から行くよ 元気を出して 気持ちを高めて何処へ行くの前から気になって  
いたんだ

美術館だよ えっ・・・びじゅつかん フェルメールだって

真珠の耳飾の少女 本物だからね そうそう・・・実はねすっかり忘れていたんだ

ふっと思い出して 今日になってしまった でもよかったね 思い出して！ しっかり観てく  
るのだよ

## 小さな出来事

\*\* —小さな出来事—

小さな喜び・・・楽しい出来事 積み重ねられて 大きな幸せになる

心からのことば・・・大好きなあの人に しっかり届いて幸せを感じる返信が・・・

待ちに待った 心に届きました 小さな幸せ しっかり受け止めて大きな幸せにします

明日からはランランラン♪ 光に満ちて いついつまでも 輝いています

## 近い将来

—近い将来—

おじいさんは詩人って 老人になったとき 家族や皆からも言ってもらいたくって

頑張ってるのだが うーん・・・なんだか 拙劣なポエムばかりで自慢も出来ないんだ

でも・・・？ 歳を食ってきた分 少しは良い出来映えの ポエムも作れていると自己満足し  
てるのだが 近い将来・・・おじいさんは ほんとうに詩人になってるかな？

## ふりむけば愛

—ふりむけば愛—

クラシック音楽の流れる・・・夕暮れの喫茶店 窓際のガラスに君の面影を写して そっと口づけをした

初冬の街外れで 口づけを交わした あの日がよみがえってくる

ふと ふりむけば・・・笑顔の君がいた うれしい驚き そっと君の手に・・・口づけをする

## 夢を追って

—夢を追って— 夢を追っている僕 いつまでも いつまでも・・・あなたと共に歩んでく夢を あなたと共に楽しく語らう夢をあなたと共に汗を流す夢を あなたと愛しあう夢を いつまでも いつまでも・・・夢を追ってく まだ見ぬあなたを求めて

## あなたの通る道

—あなたの通る道— 地下鉄淀屋橋をおりて 大江橋を渡るまじかに中ノ島遊歩道 川沿いの街灯 石造りのベンチ 肩をよせあうカップル夕暮れの川面に映える ネオンと初秋の風が頬に心地よい午後のひと時あなたは毎日・・・ここを通るのですね 今日も素敵な笑顔を残して・・・私のまえを通りすぎていきます

## 僕のガールフレンド

\*\*\* —僕のガールフレンド—

3月生まれの21歳 素直さと 全体のやさしいイメージが 初恋の人に似て好き

口紅もマニキュアも ひかえめなところが かわいい  
視線を交わすと はじらいの笑顔が かえってくる  
いつまでも 変わらないでほしい 僕の憧れの女性だから

## あたたかい心

—あたたかい心—

帰路の電車の窓に あなたの面影を映して そっとほおをよせてみた  
冬の冷たさが 伝わってくるだけなのに なぜかあたたかいあなたとの心のふれあい

## 眠りなさい

—眠りなさい—

眠りなさい 私の胸に抱かれて 私の鼓動が 子守歌になるでしょう  
愛しいあなたよ すてきな夢を プレゼントするわ 空を飛ぶ私が みえるでしょう私が迎え  
にゆくわ  
それまで そっと待ってなさい ひとときのやすらぎを あなたにあげるわ・・・だから・・・  
G o o d n i g h t

## 風が運ぶもの

—風が運ぶもの—

風が運ぶものは やさしさと あなたの口づけ ときには子供っぽい甘えもうれしい  
風が運ぶものは 失恋の悲しい調べと ふるさとの父と 母の呼ぶ声  
風が運ぶものは 希望と 明日の青春の詩 そして新しく出会う 人々との語らい  
風よ・・・幸せとよろこびを 運んでおくれ

## そしてgoing

—そしてgoing—

あなたの瞳に 僕をみたから 輝く瞳に 僕はgoing

あなたの影が 僕を包むから あなたへの憧れに 僕はgoing

あなたの面影が 美しすぎるから あなたへの恋に 僕はgoing

僕はあなたからの 愛をみつめてから そしてgoing

## 孤独

\*\*\*\* —孤独—

愛とは 恋とは 死とは 生とは

欲とは 悪とは 未来は 過去は 今は 考えるとは何だろう

空白の時間が流れる 一人の大切な時間 地球の回転が速いのか！ 僕の日が過ぎてしまう

## 愛よ再び

—愛よ再び—

じっと見つめて おれないものがある それは太陽と 愛する人の死

愛する人は 太陽である いつか再び 心のなかが太陽の光でいっぱいになることを 信じて  
たい

そして今は秋 秋の風は やさしいあなたからの 愛のメッセージを 運んでくる

## 春風にのって

ー春風にのってー

あなたへの愛を 箱いっぱいにつめて 春風が来るのを待ちます  
春風よ 早く来て下さい 春風は幸せを運ぶ 暖かい風です  
春風にのって あなたののもとに 飛んでゆきたい 気持ちです

## また会うとき

ーまた会うときー

今度持ってくるよね そう約束したのに 何も出来ていない  
急いで準備しなきゃ また会うときって しっかり準備して 期待にこたえなきゃ  
そして 初めて会ったときの 見たこともない花の名を 調べておかなきゃ  
そうそう いままでの楽しいことも 思い出しておかなきゃ  
また会うって 何故か忙しいんだ

## かぜ、風

ーかぜ、風ー

故郷にも 此処と同じ風が 吹いてるだろうか  
何処からか風と一緒に 優しい声が聞こえたり 香りを伝えてくれたり  
そうなんだ・・・故郷（ふるさと）だからね きっと同じ風が吹いてるよ  
愛しくって 懐かしくって 心が温まって 愉快になって  
だから・・・故郷にありて ふるさとを想い 風と戯れて 山々の緑に包まれて人の笑顔にふ  
れて 恋を知り 人を愛して



ああー ふるさとっていいなあ 今日も 僕のところでは 故郷と同じ・・・かぜ？ 風が吹いてるかな

## f i c t i o n

\*\*\*\*\* - f i c t i o n -

作り事、作り話、創作 嘘ばっかし？ 要は・・・ありもしないことばかり？  
いやいや 嘘から出た真（まこと）も f i c t i o n・・・創作ってのが絶対に聞こえが良いよね  
それはさておき ポエムってなあーんだ 心の叫び？ 創作もあるんだけどほんとうが多いよね  
コピーライターも ポエマーのような気がする？ 商品や物に代わって叫ぶのだから そして・・・心に届く響きがあるんだ

## 食欲

－食欲－

元気でなくちゃ 食欲もでないし やっぱり健康って 最高のしあわせ・・・  
そうは思いませんか 健康寿命までは しっかり元気で 病気なんかには負けないで・・・  
うーん そのあとは まだまだ元気だぞって 気合いでも何でもいい 健康が一番だ  
今日も元気 明日も元気 でも大丈夫かな みんな～聞こえますか

## 星からきた人

－星からきた人－

あなたはだーれ あの星から来たんだ どうして来たの 何しに来たの住むのに良いところ  
ないかなあって

ふーん これからね ずーと・・・住みたいところをね 探しに来たんだ

そうなんだ 見つかるといいね 探すの手伝おうか？

君みたいに 可愛い人と一緒に探すって ほんとにいいのかなあ そしたらね良いところを  
教えて もしよかったら 君も一緒に住まない？

わたしもひとりだから 甘えてもいいかしら いいよ君がいいならひとりって寂しいからね  
これでいい話し相手が 出来てホントうれしいよ それじゃ 探しに行こうかそして・・・し  
あわせも いっしょに探そうね

## あの日あの頃

－あの日あの頃－

初めまして こちらこそよろしく うーん・・・可愛いなあ 一目惚れかも

新人ってほんと初々しい 最初はぎこちない感じ でもすぐに打ち解けて初めて会った気  
がしない

今思うと これってやっぱり 相性がいいってことかな 僕がもっと・・・若ければいいのにね  
もっと遅く 生まれてたら良かったのに あの日あの頃 今になって思い出しても楽しいこ  
とばかりなんだ

## 想い

－想い－

秘めた恋心・・・何故か胸の中の想いって 絶対恋なんだから  
そうなんだ 胸の中の想いって悩みなのか？ 愛する人を想って悩み好きな人を想って苦しみ  
ほんとうに 恋するって胸が傷みます 心を病みます  
だから成長するには 一度や二度は 必ずね・・・恋をしなきゃいつもそう思ってる

## 追想

\*\*\*\* -追想-

愛した人と 手をつないで歩いた あの道を 今思い出しては いけませんか？  
あの頃を思い出して 過去にもどっても いいですか？ おはようって君の笑顔が僕の前に  
現れる  
そんな僕をそっと 温かく見守ってほしい・・・と思うのです 長い間・・・君のいない日々を  
過ごしてきたのだから 良いですよねわがままじゃないですよ  
あの頃を訪ねても いいですよ？ それよりも 僕が天国へ会いにいきましょうか いけま  
せんか？

## 知らなければ

-知らなければ-

知ってしまって 悔しがるより 知らずに過ごしたほうが 良いときもある  
知っていいこと 知って悪いこと ほんとうに・・・運命の分かれ道になる  
まあこればかりはね 日々の行いのなせること？ 良いことをすれば何事もすべてが いい  
方向に進むんだ  
実家に帰ってなければ 分からなかったことだから そして 珈琲ショップ<sup>o</sup>に行かなかったら  
知らずにすんだことなのだ  
良いことも 悪いことも 知らなければ 結局は何事もなかったのだ

## 見てるだけ

－見てるだけ－

見てるだけで 何かしら 楽しくなるって 不思議なことです  
おおー そんな感じでやるんだ 知らなかった やってみたいよねって思うこともあるのだ  
が 大体は見てるだけで 楽しいのだ  
やってみる？ そうそう こうしてああして そうなんだ・・・上手じゃない？  
うーん 僕はやっぱりね 見てるだけでいいよ それだけで楽しい

## うどん

－うどん－

うどんが光ってる 箸で掴んでみるとかたーい 腰があるんだ 口に運びます・・・  
ツルツルつるりん びよびよ つるりんとして 最後はゴックンだ  
うーん これだよ 喉が喜んでるよ ほんとかいなあ ツルツルつるりんぴいっぴいっぴー  
ツルツルびいっぴいっ  
やはり 最後はゴックンです これなんだから うどん県のうどんだあ

## ミスって消失

－ミスって消失－

元気にこうしてあえることが やはり何かの縁じゃないかってうれしくなってくる 会う  
のは人？ それだけじゃない 長いことご無沙汰してる  
アンドーナツやビーフカレーも あのなつかしい味にも 会っておかないとね何れにしる  
会っておきたいものって 多くありすぎるんだ

好きな人なら 思いきって抱きしめたり うーん会いたかったって感激に浸るのも 良いんじゃないかと思っています  
食べるものなら うーんこの味だって ほっぺが落ちるほど堪能するのもいい些細なこと  
だけど またあうときって 幸せなことだと思う

## 僕の夏

\* \*\*\*\* \*\* -僕の夏-

緑の風が吹き 体にまとわり付く これは良いぞ わあ・・・涼しいよ 若葉の香りがK I S S  
をする  
こりゃいい 大好きな女性との キスを思い出してしまう あの頃はね一番良い時だったの  
です  
夏が来ると・・・今も思い出して 楽しい気分にしてくれる  
僕の夏・・・老いた今の現実には 色あせてしまって 淋しい夏になってしまった  
でも・・・良い夢だけは いつも見ているんだ もうこれだけでとんでもないほどの 幸せだ  
と思っている

## あの日は

-あの日は-

昔のことって 不思議なことに 突然に思い出す そして あの日の悪夢が目の前に現れる  
あの時もそうだった リハビリが怖くて その日が 憂鬱であったことを  
物理療法室から 多くの人の悲鳴が聞こえる 大の男が悲鳴をあげるなんて  
でもこれを乗り越えないと 夢も希望も生まれない ほんとうに 苦痛のあとには幸せがあ  
ると 思うほどなのだ

## 最悪なこと

ー最悪なことー

長く・・・？ 人間というやつをやってると 最悪な出来事がひとつや二つはあるものだ  
最悪を経験と言うか 体験してることって 少しは人間として強くなれるんじゃないかって  
最悪・・・？ 基準ってなあーに 人それぞれなのだが 試練を与え給われし事？  
不幸だけはいらないんだけどね でも何かの時に 話のネタの一つぐらいにはなるんじゃないか  
実は最悪なこと？ 僕には必要ないのですが とりあえず完治して欲しい

## 階段

ー階段ー

こりゃきつい 結構急なんだ 昇るとなると ゆっくりゆっくり確実にってところだね  
よくまあ 松葉杖で昇ったよ そうそう昇るより 降るのが怖かった  
人生の階段も同じだね 昇るは何とか？ 間違っって滑れば あーっと言う間だね  
階段って・・・ 苦しい感じだけど 耐えるってことかな

## 省エネ

ー省エネー

シビアじゃなきゃ 省エネなんてね 大変なんだからね 細かいところまで気かけなきゃ  
えっ・・・こんなことまで そうなんだ このちっちゃい事が そうそうこの小さな積み重ね  
が 大切なんだよ  
省エネ・・・なんだかんだ言っても 始めなきゃね この夏もね 僕の省エネルギー

## 当選しちゃった

\*\*\*\* \*\* ー当選しちゃったー

いつも支えられ いつも以上に 気持ちを込めて 前に進みます  
向かい風を 感じたらね 前に進んでいるんだ  
追い風なら？ 皆が温かく 背中を押してくれている  
そう思ったら 何故だか・・・当選しちゃったんだ

## 先入観

ー先入観ー

間違いのないって言う 先入観って怖い・・・こちらがミスっている？ 何度やっても おかしいぞ  
やっぱり答えの順が 違ってるんだ  
こんなことって 何かおかしいぞ 先入観って その通りじゃないって？  
分かるまでは 自身の思考回路を 混乱させる  
弘法も筆の誤り 引用した記事って 用心しなきゃ

## 同じなら

ー同じならー

同じなら・・・？ 好きな曲がいいし 好きなドラマがいいし 同じなら？ あそこのベーカリーがいい  
ここの病院がいい 同じなら！！ このアパレルショップがいいカレーは絶対ここだ ラーメン屋はあそこだろう

人それぞれの・・・同じならここだよね？・・・ってのがあるよね  
あなたも私も 君も僕も・・・なあ～んだあ 同じだったのかって  
同じなら 何故か気が合うよね 同じならね？ とてもしあわせなのです

## 祈る

－祈る－

日々の平安 明日の幸せ？

健康にそして 何故だか・・・五体満足にと

祈ることって 心穏やかなる 明日があるのだ

そして 心も身体も納得し・・・いつまでもシャローム いつまでも元気に

## されど10年

－されど10年－

10年ひと昔？ ひとくちに10年って やはり はるか昔だよね されど10年？

10前は何をしてたって？ なんだろうと 考えてしまう そうそう現役バリバリで！ 働いてたよなあ

金持ちだったし うーん 借金返済したら 今は貧乏・・・かな

まだ借金が残っていて そう言えば・・・その日暮らしなのだ

されど10年・・・この頃金持ちより 健康で長生きに勝るものはなしと思っている



## 宝くじと病気

\*\*\*\* \*\* \* ー宝くじと病気ー

同じものなら 丁寧に扱って？ 気持ちが伝わる分 おもてなしってことに  
どうぞ幸運がありますように また買いたって 気持ちになるのです  
その言葉を 聞きたくって 何故か知らないうちに 買ってしまった  
そんな僕に 幸運の女神は 微笑んでくれるのか 病気の検査に当たりって怖いことだけど  
こんな時に限って 当たらないで欲しいのに  
何故でしょう 不思議と当たってしまう？ そんな予感がしませんか

## 祈ること

ー祈ることー

まずは平和を祈ること そして・・・そして？ 生きていることに感謝して祈ること  
祈りたくなること 多くの方々が 不幸になったとき 自分自身に 不幸が襲うとき不安と悩  
みがあるとき  
明日のことに悩むな 明日は明日が 解決してくれる  
どこかで聞いた言葉？ ふっと思い出して 口で唱えてみるのだが  
やっぱり・・・？ 不安があると気になり 祈りたくなる 祈ること・・・心が平安になってくる

## 夏休み

ー夏休みー

空の青 海の青・・・ 鷗の白 雲の白・・・  
航跡の白い波 波を蹴って 一路船は進む

今日からは・・・いつものことであるが 思い出を求めての 夏休みなのである  
そしてエピローグまで 夏の思い出が続く・・・ささやかな僕の夏休み

## 味びとたち

－味びとたち－

あじびとたち？ 味を追求する人たち？

勝手に造語を作ったりして 言葉遊びも良いかも だって・・・何の罪にもならないし 勝手  
なのですが・・・独断と偏見って？

昔のことを思い出して 仕事を任されて でてくる言葉は・・・独断と偏見ですが頑張りま  
すって？

うーん・・・味って？ やっぱり人それぞれ 自分の味を 皆んなが持っている

## 夏の嵐

－夏の嵐－

道路の砂埃を巻き上げ 視界も怪しくなって 大粒の雨が降り注ぎます

行き先々でますます・・・すごい嵐のようになってくる 早く自宅に着かなきゃ

横殴りの風雨に 路面は水平状態に 水が流れて・・・とてもじゃないが動ける状態じゃない  
波が押し寄せる感じなんだ 黒い怪しい雲が 地面に降りてきて 風が渦を巻き辺りは一面  
に 別世界に様変わり 夏嵐・・・初めて遭遇する

## 手の動き

\*\*\*\* \*\* \*\* -手の動き-

手はものをいう？ 案外人に見られてるんだ 性格を見破られるかも  
人柄がばれちゃったら 困るんじゃない そうそうしっかり手入れしておかなくちゃ  
この手で 好きな女性の 手を握らなくちゃね 手の運動をして動きも健康でなきゃ  
きれいな手って良いよね 手荒れをなくさなきゃ そしてそして・・・手ってもうひとつの顔  
じゃないか

## ゆとり

-ゆとり-

緊張が続いた年だった やはり疲れてるんだ  
銭湯なんかで気持ちも ゆっくり、のびのびと 大きい風呂っていいなあ  
そして一人湯じゃなく 誰かと連れだって 行きたいもんだ  
来年の新年は温泉に入って 新年を迎えるんだ そんな夢って何だろう・・・？ 一番実現し  
そうな夢 ゆとりって大事なんだ

## 北海岸通り

-北海岸通り-

不思議にいい感じで・・・！？ 遙か昔の記憶が眼の前に現れる懐かしさのあまり・・・早く  
過去に戻ってみたいかって バイクを駆って訪ねたのだ  
この先どうなった・・・うーん？ 何も変わっていない変わったのは僕が年老いただけ

野外授業って 今もやってるのかなあ？ 外で写生するっていいよね少し離れた場所で 対岸まで泳いだような気がする

きっとほんとだろう 懐かしい場所ではいろんなことすべて思い出すのだから不思議だ あのとときの潮の香りも同じで 係留してる船までも 汽笛を鳴らすのだからねよお？ 元気かい

この記憶は嫌いじゃない そして何故か心の落ち着く 北海岸通りなのだよやはり思い出すからには 楽しい思い出だったと そう思っている

## 紺碧の空

—紺碧の空—

あの日もそうだった 朝から透き通るような 青い空が広がります雲ひとつない大空 あの空・・・紺碧の空にむかって 飛んで行きたい

そう思ったことがある けれど出来なかった そして今・・・あの青い空にむかって 飛んで行こうと思う

今度こそ飛んで行くよ そう心に決めたから でも・・・大丈夫なのだろうか

不安が確かにあるのだけれど 夢の方がとても大きいから負けずに前に進んでいきます

あの日は・・・一歩も進めなかったけど 今は少し違うあの頃とはね仲間やいろんな人たちが 応援してくれる そして勇気と元気を貰ったからそしてあの日よりも 成長した僕がいる

## 明日の夢時計

—明日の夢時計—

未来に向けて 楽しい夢が広がるように 心に届く君の言葉

そうだ僕の返事も 楽しい言葉にしなきゃ

互に進む道が・・・時と共に刻まれ そして・・・幸せ多い道でありますよう

明日をしっかり刻む 夢時計のようにね

## この日にさようなら

＋－この日にさようなら－

この日にさようなら・・・大きな声で言えるようにしないとね せっかく・・・生きてきているのだから

そう！明日があるからね 毎日楽しい日にしたい 楽しいことばかりしてるといい夢を見れるはずなんだ

この日にさようならしてから いつもそう思っている

## 恋の香り

－恋の香り－

懐かしきことは 遥か昔の 恋物語なのです

それは 淡い恋心の 始まりなんだ 可愛いあの娘の 笑顔に会いたくって足を運んだ 君の 住む町

今日も あの娘はいてるかなあ

僕がそばを通ると 笑顔を返してくれる ただそれだけなのに 心が躍るのです

## あなたの心へ

－あなたの心へ－

わが身は果てるとも 魂は生きて・・・あなたの心の中で 脈々としている

嗚呼・・・わが魂は あなたの中で 永遠に生きて あなたを見守っていることでしょう  
私が亡くなっても 悲しむことはない 明日がありさえすれば あなたの心の中に私がいる  
のです  
さあ～どうしました・・・明日は必ずやってきます 今日のことを精一杯しましょ明日は・・・  
きっといいことがあります

## あの日の思い出

－あの日の思い出－

少し心配性の君 O型的で気にもしない僕 ある日出かけたのだ  
今日は降らないよ 少ししてから・・・ほら降ってきたじゃないもし降ってきたらと 君が用意した傘  
だから言ったじゃない 優しく笑う君 君を好きになった 理由が分かった  
相合傘だねー もうあなたって ほんとにダメなひと あの日の出来事あの日の思い出 何故か思い出すんだ  
おーい元気かい 空にむかって呼ぶのだが 遠くにいる君には聞こえるはずがない  
そう思いながら おーいと今度は もっと大きな声で 呼びかけているのだ

## 瀬戸大橋

－瀬戸大橋－

人が挑戦し成し遂げた事実 瀬戸大橋が壮大すぎて 目の当たりに見てしまうとビックリするのだ  
そしてこのロケーション この素敵な日常を・・・いついつまでも通り過ぎていく  
この喜びを感じたり 人へのさりげない愛を感じるこの場所不思議に心穏やかになってしま  
う  
だから毎日毎日を 何故か不思議に頑張っていける 明日への未来へ続く僕の幸せの橋と  
なっている

## 砂浜

++ -砂浜-

君と歩いた砂浜 あの日の思い出が 忘れられなくて 何故か一人でやって来た  
ねえ元気だった？ 会うたびに優しい気持ちが 伝わってくるあの日のこと  
私はあなたの心の中で いつまでも幸せを感じている  
誰もいない砂浜 あなたと歩いた砂浜 あの日の思い出を もっと探したくって  
こうしてまた 寂しさを忘れようと 足跡を残してゆく  
会うたびに 私はあなたの心の中を歩いて いつまでも幸せを感じているのだろうか

## 彷徨

-彷徨-

彷徨・・・って ほうこうって言うのか あてもなく歩き回る  
今の僕もそうだろう そのとおりに違いない でもそれが一番いい  
何も考えずに ただただ歩いている 何をしてるんだ 彷徨ですよ・・・ ほうこうえっ 芳香って？  
いい香りなんだが 彷徨も歩いてると 故郷の香りがしてくる  
行き交う人は 皆懐かしい顔だし 景色も言葉も 何故かいい香り！  
彷徨って故郷に帰ったら 不思議に毎日なのである

## 今日のうた

—今日のうた—

今日のうた 実は昨日も今日も 明日も・・・ずーと同じ歌を聴いてる

不思議なのです そよ風の季節にもなると さらにたくさんの優しい歌がふりそそぐ日が  
来ます

歌って心病むときも 明日を見失おうとする時も 未来への道しるべをしっかりと照らして  
くれる

そう！ それも突然に 心の中に歌声が流れてきて手に手をとって前に進んでいる だから  
僕はまた・・・今日も歌を口ずさんでいる

## 明日の道

—明日の道—

今日は一人で歩いている道も 明日は君と二人で歩いている今日は一人で歩いていても  
明日は・・・君と手をつないで歩いている

今日まで育ったこの道は 明日は二人で 歩んで行く新しい道 明日という日は素敵なあし  
た 明日の道は・・・夢の叶う道なのです

## そうだよね

—そうだよね—

いつもの朝・・・えっ 今日は静かだけど 小鳥たちも鳴いていない 雨なのか？

そういえば雨の日って 小鳥たち・・・遊びに来てくれないよね

多勢でやってきて 賑やかにして欲しいのだけれど 大声呼んでみようか



おーい おはよう元気だった？ 大好きな食べ物をあげようね

## 僕からあなたへ

+++ ー僕からあなたへー

ほんとうにお世話になりました いつも見守ってくれてありがとう支えてくれてありがとう  
誕生日覚えてくれてありがとう  
シャイな僕の手を・・・！！ 握ってくれてありがとうそれから君の手を握れるようになった  
手の先にある君の笑顔を見たくってしあわせを感じたくって ずーっと手を握ってた  
今はもう僕の手だけになった 自分の手を握り合えば お祈りしてるようになる  
僕からあなたへ そちらはいいお天気ですか 君はお元気ですか僕はこちらでもう少し頑  
張ります

## 雨にぬれて

ー雨にぬれてー

相合傘から離れて 僕は雨の中へ 少しでも君が濡れないようにと何故かそう思った 君が  
この傘を使って そういつて君に手渡した  
でも？ 女性が濡れてるって悲しいから いいよ・・・いいよ僕は守衛さんに預けてて そう  
いつて僕は走りすぎてゆく  
今なお・・・！！ 遥か昔のことなのに 雨が降ると思い出してしまう好きなひと（女性）  
だったのかな？  
いやいや・・・？ 僕が優しすぎるだけだよ 結局は・・・ありがとうだけの言葉でなにもな  
かった  
ほんとうにつまらない そんなものだよ 今になって思い出すことって！！

## バイクに乗って

ーバイクに乗ってー

ぶるんぶるん ぶるんぶるんぶるん・・・ぶんぶんぶん 僕がそういつてるけどバイクが声を出してるんだから

風を切ってびゅーん ビュンビュンビュン びゅーんびゅーん さあさあ着いたよ

此処はどこだあ テーブルに座って お茶でもしましょ ふーっと深呼吸すると珈琲の香りがした

## はじめまして

ーはじめましてー

地下2階の駐車場 はじめまして ねえ！ ほんとに初めて？

うん地下1階はあるけどね 他の場所への駐車場って 同じ地下道でつながって何処に停めたか分からない

迷子になりそうだよ ほんと田舎者め 停めた場所に 戻って来れるかなあ

駐車場の表示番号 覚えておかなきゃ いやメモするよ

エレベーターで 降りた場所もね しっかり記録しなきゃそして都会に慣れなきゃ

## さざんか

ーさざんかー

暑い日々をじっと耐えて 秋になればあなたのために 花をいっぱい咲かせるよそうあなたが今見てる

どう？ 可愛いですか これから私 うーん・・・わたし思いきり咲き誇るつもりだよ

だからね 写真を撮ったり 摘み取って・・・家のなかで飾ってね  
いつもあなたといっしょ 誰かに見られてるって感じ とても大好きなのです

## 讃美歌

++++ - 讃美歌 -

何処かで聴いたことがある？ あのときのあの歌・・・あの讃美歌  
大好きな女性が透明感MAXの いつもより素敵な声で・・・瞳をぬらして歌っていた  
あのときの讃美歌 何故だか僕までが 静かに静かに涙を流しながらいっしょに歌っている  
愛する人の心に 何故か届いてる 私の胸のうちよと 涙であなたに伝えている  
これってほんとのほんと 恋なのでしょう 好きな讃美歌と いつも 一緒なんだよ

## あの港町

- あの港町 -

不思議にいい感じで・・・！？ 遥か昔の記憶が眼の前に現れる懐かしさのあまり・・・早く  
過去に戻ってみたいかって バイクを駆って訪ねたのだ  
この先どうなった・・・うーん？ 何も変わっていない変わったのは僕が年老いただけ 野外  
授業って 今もやってるのかなあ？  
外で写生するっていいよね 少し離れた場所で 対岸まで泳いだような気がするきつとほ  
んどだろう 懐かしい場所ではいろんなことすべて思い出すのだから不思議だ  
あのときの潮の香りも同じで 係留してる船までも 汽笛を鳴らすのだからねよお？ 元氣  
かい この記憶は嫌いじゃない  
そして何故か心の落ち着く いつものあの港町なのだ やはり思い出すからには楽しい思  
い出だったと そう思っている

## AUTUMN

—AUTUMN—

・秋ですね 小さな秋みつけたあ なになに・どんな感じなの小さな秋がいっぱい集まってほんとうの秋になる

しあわせも同じですよ 小さな幸せがいっぱい集まって大きな幸せになるのだからね・そしてね 楽しい毎日が始まるんだ もう今日からだよ 秋ですねえ・小さな秋、小さな幸せ みーんな・聞こえてる 大切にしましょ

## 恋ごころ

—恋ごころ—

どうしてなのだろう 気付かなかった 君の手を握ったらこんなにも冷たい日なのに 何故か温かいのだ

手のぬくもりが 心にまで届く 温かい手なんだね

君の心が届いて うれしい気持ちになる

いつまでもずっと 手をつないでいた あの時を思い出す

## 春

—春—

春になれば テーブルをベランダに出そう・椅子もね

ゆっくり腰掛けて テーブルに飾った花を じっと眺めるのもいい

そうだランチを食べよう 屋外で食事するって 何故か楽しい気持ちになる

それからね・ベランダで絵を描こう

絵の具の香りが春風といっしょになって 小さな幸せを運んでくる春ってやっぱりいいなあ

## 静かな朝

+++++ ー静かな朝ー

静かな静かな 朝？ あさ？ 昼？ ひる・・・やっぱり夜だろう

僕は不思議だけど 朝がいいよ 何故って 朝の小鳥たちのさえずる声が聞こえてきて たまらなく好きなんだけど

そして夜の静かなのって 怖くない？ 皆んな一人で歩けるの 僕は怖がりやからとても無理だよ 静かな夜ってやっぱりね

## ふっと想う

ーふっと想うー

ふっと想う 心の叫びを書きとめて poem として 残しておくことにします

君への熱いメッセージとしたいのです 言葉を話したり、言葉を書くこと大好きな人への想いを伝えることだと そう思っていた・・・

だけど間違っていたかも知れない 自分を愛せなきゃ 人を愛せない自分自身への愛情を疑っているから 言葉で確かめているに過ぎないそうじゃないかって

そんな時・・・ poem は僕の叫びを教えてくれる ふっとそう想うのです

## ぼくの庭

ーぼくの庭ー

長続きの出来る ピッタリな日常 ぼくの庭・・

物干し竿にエプロンが 干されていたり 片付け遅れの サッカーシューズがぶら下がった  
ままだったり

この光景・・ 不思議に楽しいのだ これはいい？ 写真に残しておこうと携帯のカメラの  
シャッターを切る

すると近くに小鳥がやって来て いいぞいいぞと囀り立てるように囀ってくれるのだが！  
小鳥たちの写真もいいよねと シャッターを切ろうとしたら何故か一斉に飛びたっ  
てしまった

## 今日は雨

ー今日は雨ー

今日は雨 予報どおり雨だよ いやだね雨の日って

緑の風を切って バイクに乗ろうと思ってた

こんな日には家にいて 音楽三昧もいいか！ それじゃ我が家の音楽室へ l e t ' s g  
o . . .

そうそう？ 雨の日ってこうして 音楽三昧もいいよね

## 光の子

ー光の子ー

むかしから何故か夢見てた 光の大きなエネルギーで 僕に大きな力を下さいとそう願っていたのだ

今ここに光になってるんだ そうなんだもう光の子なんだ なんでも出来るぞもう何も怖くない・・・

前に進むのみって 本当にこのことなんだ

光の子・・・主に結ばれて光となる この日を今か今かと 待ち望んでいたのです

## べんりって

+++++ + -べんりって-

今はもう手紙って 書かなくなってしまった 何故なのだろう

でもペンなどを使って 便箋用紙などに poem を書いたりブログの原稿を書いている

手紙じゃなく・・・切手がないだけで 手紙を書いているような感じ

そうなんだ！ 書くことが好きなのだ これをパソコンや？ スマートフォンに入力して ネット上に公開してる

ほんと何と便利な時代なのか 原稿なしでいきなりも いいかもしれないけど！ せっかく入力したのに 全て消えてしまうって！ 大変な出来事があった

やっぱり便箋など 紙に書かなくちゃって そう思うのです

便利って？ その時は良いけど 僕はやっぱり・・・鈍臭いのがいいそして昔ながらの やり方が似合うんだ

## g r a t i a s

- g r a t i a s -

・・・感謝 僕は煙草で肺の半分が 機能しなくなったけれど 苦しい呼吸も無くなって ちゃんと呼吸が出来ているのかも知れない

息切れが酷くって 声も出せず お話し出来ないこともあるけど言いたいことは・・・全部言えてるのかも知れない 出来ていないのに不思議にちゃんと出来ていると思うのもいいかも知れない

生きることは苦しい でも・・・苦しくてもそれに増して 楽しいことがあり生きていて良かったと そう思えることに感謝しているのです

## 若人と老人

－若人と老人－

わたし・・・！！ 空へ・・・羽ばたきます 無事に卒業したからあの青空に向かって 飛んでゆきます

そして次はね もっと良いところへ そう思っているんだ若いから無理も出来るし もっともっと頑張らないと

いいわね若いって 僕の元気は気持ちだけ 身体がついて行かないよ

でも今のこの時間(とき)を 大切にしてお前を進んで 君もあなたも！ みーんな！ とにかくさあさあ出発だよ

帆を上げよ 錨を上げよ 翼を広げよ いっしょに行こうよ 明日に向かって

## 自炊男子

－自炊男子－

珈琲をいれる 当たり前のいつもの香り 皿には好きな物を盛り付けるいつもの朝・・・いつものように朝食

なんのへんてつもない日常 最近は無思議に 些細な日々が贅沢な幸せだと思っているのです

明日からは少しずつ 品数を増やして もっともっと楽しくなれば素敵だなあと思う



## はじまりは

－はじまりは－

あの人と仲間になりたい・・・？ 仲間に入れてえ～ そうなんだ一歩踏み出そうよ 家で閉じこもってないで 仲間に入れてえ～

そうそう その感じだよ まずは仲間にならなきゃ

そして嫌われないよう 笑わせるようになってから！ 良い人と思ってもらわないと 一緒にいて楽しくなきゃ

ほんとだよ 笑いが絶えない 家庭じゃなきゃ駄目だよ

## 詩人

+++++ ++ ー詩人ー

いつしか・・・歳月に育てられ 日常的な思考系統が 侵されているようなそんな気配の中でも どうにか詩を書いている

ふりかえてみると 寒さの厳しい中で 詩を書いていると 早熟で下手な詩でもどうにか見栄えのする 詩が出来上がるのだ

小さい頃は 文学少年って 声をかけてもらいたくって 密かに作文なんかにも気合いが入っていた

自分自身は詩人という 次元になるには無理だと そう思っていたのだが

ただただ・・・好きこそ物の上手なりの 考えと一人遊びに 過ぎないのである

でも・・・されど・・・されど詩人 大好きなポエット さすがに良い作品だと少しでもほめられると 嬉しくなってくる

## 健康な日

－健康な日－

闘病生活から抜け出して 健康で一番元気な日を 3日間下さい

1日は再び北アルプスの穂高へ登って 2日は一日中サッカーをして3日は愛しき人とハイキング もちろん雨は嫌だよ

これって想像の世界なのですが 楽しくないですか？ 走ることが出来ない本当に残念なのである 肺が半分しか働いてくれない

百害あって一利なし・・・みんな知ってる煙草が原因 これを自業自得と人は言う

でも・・・でもね！ 出来ないことになると 想像の世界が不思議に増えて少しは嬉しいし楽しいのだ

## 実家滞在中

－実家滞在中－

そろそろね！ えっ！ もう帰るの？ 長いあいだ滞在してたあ

詩作の旅・・・どうでしたあ いい作品出来ましたか？

知っている人は知っている・・・詩人ってことを

いい響きだよ 詩人って 皆さんも如何ですか 頑張ってくださいねありがとう・・・

## いま行きます

－いま行きます－

はい 呼ばれました？ 今行きます

はいなんでしょう それじゃ行って来ます いつもの日常なのに 懲りもせず・・・不思議に  
楽しい

仕事なんて 気持ち次第で 何故か楽しくなる 要は仕事人間かな  
嫌いな仕事だったのに 今は仕事が好きだから こうして毎日が愉快的な仕事だと思っている

## 手の温もり

－手の温もり－

今までどうして 気づかなかったのか 何気に・・・君の手を握ったら  
温かい・・・手の温もりが・・・胸まで届く  
温かい手なんだね 心まで・・・春が来ましたよ  
このままずっと 手を握っていたい・・・  
いつかの冬至の日を 思い出してしまうのです

## 降るのかな

+++++ +++－降るのかな－

雲が多くって 黒い雲が・・・増えてきてる こちらに向かって雨雲が近づいてるよ  
嫌なやつだ こっちに来ないで そう思った途端に ほらほら・・・嫌ってると好き好きと近  
寄ってくる  
なんかな？ いじめっ子のような だから最近ほ こっちにおいでよそう言うことにしてる  
大きな声でね おいでおいでしてると 今頃は近寄ってくるんだ  
もちろんチャンと 雨具の用意をしてるよ 用意してると何故か雨も降ってこない ホント  
不思議なのだ

## 意地

—意地—

心意気 根性 負けず嫌い 私は決して負けへんよ やられたらやり返すそんな感じだっけ？  
思ったことを どこまでもやり通す 我を張る ムキになる こだわりをもつ  
プライドを持つこと 良い意味で素敵なこと 僕はこうでありたい私は優れてると見られたい

## 迷い

—迷い—

気持ちの重い扉の向こうに何がある 行かねば良かったと後悔しないかなあいやいやそれでも行った方がいい  
扉が一人で開けるかな 誰かと一緒なら良いんだけど一人で行って一人で扉を開けて冒険もしないとダメだよ僕は背中を押すだけだよ  
その後(あと)は君だけで行くんだ たどり着いたら連絡してこれって嫌だよとか言わないこと  
生まれてきたのは一人だから でも一人でって好きな言葉だけどやっぱり気が進まない

g o o d m o n i n g

—good morning—

おはよう おはようございます いらっしゃいませ お元気でしたか何にしましょ？  
朝から笑顔をいただいて しあわせいっぱい・・・ こうしてね笑顔をふりまいていただくと嬉しいものです

いつものにしますか？ ええそうして下さい ジャムトーストにヨーグルトと茹で玉子  
これでよかったですか？ えっと覚えて下さって ありがとう  
いつもの朝いつものモーニング 些細なことなのに しあわせですよホント大切にしな  
きゃ 常連になったんだね

## やっぱりね

—やっぱりね—

20km離れた演奏会場 行かなきゃ会えないよね そしてそして・・・なんとついにお会い  
することが  
サインをいただき 記念撮影までも これって・・・一生で一度だけかも  
生きているうちだからね いやいやまたお会いしなきゃ そうそう健康が一番だよ

## 緑の小旗

+++++ +++++ —緑の小旗—

何処かで見えたか聞いたか 機関車のタラップの上に乗って 緑の小旗を降ってるそれと同じ  
緑の小旗

騒々しい場所だから 目で見て分かる合図なのだ 緑の小旗は進めだろ 赤の小旗は止ま  
れだろ

やっぱり信号機と同じ 一度は真似てやってみたい

童心にかえて 不思議に懐かしく想う 赤い旗と緑の旗 二つで1セット進むか止まるか  
人生もそうだよなあ 進むか止まるか 僕は止まってばかり？ そうだったかも知れないと  
反省しているのである

でもこうして ここまで来てしまった 些細な人生なのだが幸せであったと思っている

## そして明日（あした）

－そして明日－

今日のうた 実は昨日も今日も ずーと同じ歌を聴いてる たぶん明日もなんだ不思議です・・・

秋も深くなると たくさんの寂しい優しい歌がたくさん出てきます・・・

歌って心病むときも 明日を見失おうとする時も 未来への道しるべをしっかりと照らしてくれる

それも突然に歌声が流れてきて 大好きな人と一緒になって 前に進んでいる

そして明日 僕は・・・また 昨日の歌を歌ってる

## 金曜日

－金曜日－

さてさて今日はなーに 仕事してる時は 月曜日って嫌な日だから

でも明日から休みだあ そう言える金曜日 一番好きな日かも知れない

だから1週間頑張れるのかも それまでは残業になったり 大変なことがあったり

せっかく休めても 遊び疲れたり こんな状態で 明日から仕事だってでも好きな仕事だから 頑張れるのかな

## 春も終わり

－春も終わり－

大好きなスマイル こんにちはと声をかけた もうこれで咲くのは最後

小さな幸せ、謙虚 誠実、慎み深い・・・素敵な花言葉

だから大好きだったのに 残念だよほんと 次の春まで待てないよ  
記念に一枚撮っておこう ご一緒にどうぞ それじゃ甘えようかなあ

## 過ぎし日

ー過ぎし日ー

麗しきかな うるわしきかな 愛しきかな いとしきかな  
ふっと僕の心のなかに 懐かしき歌声が聞こえてくる  
嗚呼・・・あの頃のなつかしい・・・日々が駆け巡るのです そして走り去った思い出が・・・  
今日も不思議に現れる  
そうなのだ 消えていくかのような あの時の愛しき日々 何故だか僕はまたあの青春の頃  
に 帰ってみたいと思う

## 青春の頃に

+++++ ++++++ ー青春の頃にー

打ち明けていない気持ち あの人に 思い切って 話しかけたのに  
何故かはずかしそうで 応えてくれない こちらまでがはずかしくって顔が赤くなって俯  
いてしまった  
こんなことって 嫌いじゃないけど やっぱり・・・好き同士になって二人して前を歩んで行  
きたい そう思うのです

## 春のささやき

ー春のささやきー

そっと耳をすませてごらん ほら聞こえてくるでしょうーん・・・気のせいのような  
春のささやき・・・かな！！ いつでも待ってるよ？ 確かにそう聞こえてくるよ  
いやいや僕にはね いつでも会いに来てねって そう聞こえているんだ  
どちらでもいいけど 春っていいよね？  
花の香りがいっぱい広がって 心もうきうきしてくるんだ 今日は花見して花の精と話を  
しましたよ

## 明日への道

ー明日への道ー

令しきかな うるわしきかな 愛しきかな いとしきかな令和の明日は幸せへの道  
ふっと僕の心のなかに 懐かしき歌声が聞こえてくる  
そして・・・昔のあの頃の日々が 僕の心の中で駆け巡るのですあれは白日夢だったのだろ  
うか  
走り去る思い出が・・・いつしか明日からの夢になって 現れるのです  
そうなのだ頑張らないと！ 今日から新しい令しき時代なんだでもあの時と同じ白日夢  
じゃないのか  
そんなことはないだろう きっとまたあの時のような 愛しき日々だと僕は思う  
さあ前を向いて・・・新しい未来の事事物物を 僕は先生から私淑しなきゃ

## 輝くあした

ー輝くあしたー



心からの言葉は 必ず心に届きます  
小さな幸せがしっかりと積み重ねられ 大きな幸せになります  
明日からは光に満ちて いついつまでも輝いている そんな未来が広がります  
そうか・・・ そうなんだ 頑張ってるしかないよね

## しあわせ

—しあわせ—

光をいっぱい浴び 輝く光に満ちて いろいろな愛をいただいてこうして幸せな日々を過ごしてる  
些細なことを大切に 一つ一つ積み重ねて 幸せを実感しているのだろう 小さな幸せが多くなって 心のなかに広がってゆく  
生きるって・・・ そうということなんだと  
今頃になって気付く のだけれど 決して遅くはない今の小さな幸せをしっかり受けとめて  
・・・ 僕は生きていく

## E p i l o g u e

E p i l o g u e

何も聞こえないじゃなくって、少しは僕の詩が聞こえていますか？ いつも心をよせて下さっている読者の皆さん！ この詩集をわざわざ訪ねて下さってありがとうございます。そして一度は瞳を閉じてみて下さい。このp o e mは瞳を閉じ、耳をすませばあなたの心に聞こえますよ！ 一応勿体をつけてみた訳ですがいけなかったですか？ 初版の紙の本である詩集「憧れと愛を求めて」から気に入った詩をいくつか掲載していることで、少し贅沢な詩集になったのではないかと自画自賛しているのですが、如何でしたか？ 実は自慢話をすると今回の詩集出版にて14作品となります。このたびの詩集の出版においてお世話になったP u b o o様、いろいろと励ましのお言葉と応援をいただいた友人、知人また諸先輩方そして初版発行時から特に応援下さっている女性フアンの皆さんに感謝を申し上げます。

瀬戸大橋の見える公園より

2020年5月5日 飛鳥 圭

## 憧憬

bonus poem - 憧憬 -

いつもなのである しょうけい・・・？ これなくして生きている意味がないそう思っている  
のである

憧憬はしょうけい どうけいとも言うらしいが 言葉としての美的イメージからして僕はしょう  
けいを多用する

単にあこがれることなのだが 憧れの気持ちって大切なのだ愛慕（あいぼ）や讚美でも 同  
じようなものなのだがこの憧憬（しょうけい）の言葉には 不思議に未来への夢がある

shokei? しょうけい? 憧憬? 今なお憧憬の熱も冷めず僕はいつも詩を書いている  
憧憬が僕を狂わせ 憧憬にもてあそばれ憧憬の光沢がさらに輝きを増し 恋愛の感情の  
中に消えていったり

そう・・・!! 悪い意味でも良い意味でも いつまでもいろんなことに憧れを持ち続けている  
から 憧憬を葬り去れないでいる でも・・・今はこれでいいと観念してるんだ

## 僕の夢時計

bonus poem - 僕の夢時計 -

ねえねえ何処へ行けば売ってるの 絶対買うからねところでどんな時計か知ってるの  
夢がありそうで何か楽しそうだから

時を刻むのじゃないよ 今までに見た夢が保管されてるんだ 時間を合わせばねその時  
間に夢を見るんだよ それも楽しい夢ばかり

うわあ～ いい感じで思ったとおりだよ でも楽しい夢ってね誰も覚えていないのだっ  
て だから何度も楽しい夢ばかり見たくなくなってしまおうって言うよ

どんな夢を見るのかなあ そんなに楽しい夢だったら爽やかな気持ちで目覚めそう 身  
体にも良さそうだね

## 良い出来事

b o n u s   p o e m -良い出来事-

人からされて 嫌なことは 人にはしない

人からされて 嬉しかったことは 人にしてみよう 必ず喜んでくれると思う

良いことは良い ほんとうに日本人って まだまだ捨てたものじゃない

みーんな幸せになる 素敵な出来事 明日からじゃなく 今日から始めようっと笑顔と感謝・・・



奥付

## 奥付

聞こえていますか 著者：飛鳥圭著者プロフィール：<https://puboo.jp/users/sanbika21/profile> 感想はこちらのコメントへ：<https://puboo.jp/book/130020> 電子書籍プラットフォームパブー：<https://puboo.jp/> 運営会社：デザインエッグ株式会社 <https://designegg.co.jp/about/>



---

聞こえていますか

---

版番号の予定

{{-  
-}}

著 者 書籍情報の編集ページから、著者情報を入力してください

制 作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---